

子ども・子育て支援事業計画(教育・保育事業)の実施状況 (市全域)

計画上の教育・保育必要量の見込み及び確保の内容【平成29年4月1日時点を見込んだ数値】

単位:人

区域	計画年度	利用者区分	A 量の見込	B 確保の内容				B 計	B - A	
				特定教育・ 保育施設	確認を受け ない幼稚園	特定地域型 保育事業	認定保育室			
市 全 域	平成 29 年度	1号認定	10,108	5,554	7,744			13,298	2,430	
		2号認定	学校教育を希望	760	7,151			420	7,571	327
			上記以外	7,244						
		3号認定	0歳児	1,200	963		149	88	1,200	0
			1・2歳児	4,712	3,883		353	496	4,732	20
		計		24,024	17,551	7,744	502	1,004	26,801	2,777
C 2号認定・3号認定分		13,156	11,997	0	502	1,004	13,503	347		

確保方策に係る実績値(定員ベース)【平成29年4月1日現在】

単位:人

区域	計画年度	利用者区分	A' 必要量	B 確保の内容				B 計	B - A'	
				特定教育・ 保育施設	確認を受け ない幼稚園	特定地域型 保育事業	認定保育室			
市 全 域	平成 29 年度	1号認定	8,141	3,916	8,527			12,443	3,557	
		2号認定	学校教育を希望	745	7,235			560	7,795	709
			上記以外	7,086						
		3号認定	0歳児	1,011	1,052		158	60	1,270	259
			1・2歳児	4,878	3,708		488	531	4,727	-151
		計		21,861	15,911	8,527	646	1,151	26,235	4,374
D 2号認定・3号認定分		12,975	11,995	0	646	1,151	13,792	817		

のA「量の見込み」の数値は、平成29年度当初の時点推計し算定されているため、同年度当初の実績数値(利用数及び保留数)をA「必要量」とする。

確保方策に係る実績値(利用数及び保留数)【平成29年4月1日現在】

単位:人

区域	計画年度	利用者区分	A' 必要量	B 申込児童数				B 計	B - A'	
				特定教育・ 保育施設	確認を受け ない幼稚園	特定地域型 保育事業	認定保育室			
市 全 域	平成 29 年度	1号認定	8,141	3,093	5,793			8,886	0	
		2号認定	学校教育を希望	745	6,691			395	7,086	0
			上記以外	7,086						
		3号認定	0歳児	1,011	880		94	37	1,011	0
			1・2歳児	4,878	4,062		464	352	4,878	0
		計		21,861	14,726	5,793	558	784	21,861	0
E 2号認定・3号認定分		12,975	11,633	0	558	784	12,975	0		

のA「量の見込み」の数値は、平成27年度当初の時点で29年度を推計し算定されているため、同年度当初の実績数値(利用数 + 保留数 = 申込数)をA「必要量」とする。

「 計画上の教育・保育必要量の見込み及び確保の内容」と
 「 確保方策に係る実績値(定員ベース)」の差の検証について

(29年度当初定員と、計画上の教育・保育見込量の差分)

単位:人

区域	計画年度	利用者区分	A 必要量 (当初入 所数)-量 の見込	B 確保の内容 (定員確保数 - 量の見込数)				B 計	B - A	
				特定教育・ 保育施設	確認を受け ない幼稚園	特定地域型 保育事業	認定保育室			
市 全 域	平 成 2 9 年 度	1号認定	-1,967	-1,638	783			-855	-	
		2号認定	学校教育を希 望	-15						
			上記以外	-158	84			140	224	-
		3号認定	0歳児	-189	89		9	-28	70	-
			1・2歳児	166	-175		135	35	-5	-
		計		-2,163	-1,640	783	144	147	-566	-
C 2号認定・3号認定分		-181	-2	0	144	147	289	-		

1号認定相当児童数(私学
助成幼稚園
入園児含む)
が、当初の量
の見込に対し、
大きく下回っ
た。

0歳児の申込
児童数が、当
初の量の見込
に対し下回っ
た。

認可保育所、認
定こども園に
おける1,2歳
児クラスの定
員確保数が、
当初の確保
の見込みを
下回った。

当初の見込
より多く定員
を設けた。

0歳児は当初
の確保の見込
を下回ったが、
認定保育室
全体では確保
数が見込みを
上回った。

「 確保方策に係る実績値(定員ベース)」と
 「 確保方策に係る実績値(申込ベース)」の差の検証について

単位:人

区域	計画年度	利用者区分	A' 必要量	B 確保の内容 (定員数 - 申込児童数)				B 計	B - A'	
				特定教育・ 保育施設	確認を受け ない幼稚園	特定地域型 保育事業	認定保育室			
市 全 域	平 成 2 9 年 度	1号認定	-	823	2,734			3,557	-	
		2号認定	学校教育を希 望	-	544			165	709	-
			上記以外	-						
		3号認定	0歳児	-	172		64	23	259	-
			1・2歳児	-	-354		24	179	-151	-
		計		-	1,185	2,734	88	367	4,374	-
C 2号認定・3号認定分		-	362	0	88	367	817	-		

1,2歳の申込
児童に対し、
保育所・認定
こども園につ
いては定員が
不足している。

小規模保育事
業等や認定
保育室には
余裕がある
が、認可保
育所・認定
こども園へ
申込が集中
している。

全体の傾向と今後の対策

に対する の充足率 ... 120.0%
 うち、2号認定・3号認定分充足率... 106.3%
 うち、3号認定分充足率... 101.8%

当初の事業計画と実態を比較すると、全体的に実態が見込みを下回っているが、3号認定1,2歳児のみ実態が見込みを上回っており、受け皿も不足した状態となっている。
 保育士の不足により定員枠を確保できない場合もあり、施設整備を進めるとともに、保育士の人材確保にも尽力していく。また、幼稚園における2歳児預かり等の新たな制度も活用し、定員確保に努める。